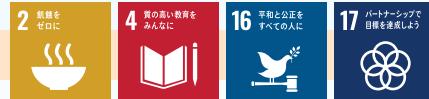


## 基本目標.6 地域に学び、ひとを育て、未来が輝くまちづくり

### 6-1 幼児教育・学校教育の充実

担当課 子育て支援課、教育振興課



#### 1. 現状

##### 【就学前教育】

- 平成27年度にここのえ飯田こども園、平成28年度にここのえみつばこども園を開園し、「幼保連携型認定こども園」として、0～5歳児の一体的な保育・教育を進めています。開園と合わせて、様々な保育サービスに対応できるよう、こども園において、在園児や園児以外の「一時預かり事業」、「体調不良児対応型病児・病後児保育事業」等の子育て支援サービスを実施するとともに、「園庭開放」等、家庭や地域と連携した幼児教育を推進しています。
- 子どもたちが就学前から学校へ安心して移行できるよう「ここのえ学園基本計画」によるつながり学習等を行っています。

##### 【学校教育】

- 学校教育においては、本町の課題であった学力の向上、生徒指導の充実、自尊感情を育てる等に取り組んできました。基礎基本の定着を図るために、教育委員会内に指導主事を配置し授業改善にも取り組んできました。また、特別支援教育においては、特別支援学級を設置し、特別支援教育支援員の配置や個別の指導計画の作成等による指導の充実等を行っています。
- 学校の再編については、平成25年に中学校を1校に統合しました。これにより免許外指導の解消や部活動の充実等、教育環境の充実を図っています。小学校の再編については、令和元年度に学校再編計画の見直しを行い、小学校について6校を維持することとしました。小学校の小規模化や複式学級の課題、全戸調査により明らかになった教育課題の解決を図るため、平成27年に「ここのえ学園基本計画」を策定し、「ここのえ学」や集合学習等小学校間の連携を中心に小中学校・地区公民館・こども園との連携等を推進しています。
- 国際社会で活躍できる人材の育成をめざし、台湾の中学校との姉妹校提携と交流の促進、英語資格検定試験の助成制度や情報化社会へ対応するためにタブレット端末を活用した授業等を推進しています。
- 学校施設整備については、一般的に改修が必要となる経年25年以上の建物が大部分を占めており、老朽化する施設の保全・再編に迅速に着手するため、「九重町学校施設長寿命化計画」を策定し、計画的な改修に取り組んできました。

#### 2. 課題

##### 【就学前教育】

- 乳幼児期の保育・教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っており、質の高い保育・教育、子育て支援の提供を通じ、子どもの健やかな発達を保障することが求められます。
- 支援が必要な児童が増えており、個々の児童に応じた保育・教育が必要となる中で、対応できる保育教諭等の確保やさらなる資質向上が求められています。

- 適切に保育・教育施設としての役割が発揮できるよう保育教諭等の研修の充実や「このえ学園基本計画」によるつながり学習の実施等、学校との連携をさらに深めていくことが重要です。
- 保育教諭等就学前教育を担う人材が不足しており、保育人材の確保の方策が課題です。

### 【学校教育】

- 少子化に対応するために「このえ学園基本計画」の見直しを進め、本町に適した学校・家庭・地域が連携した教育の在り方を検討する必要があります。
- 「地域の中の学校」として、従来の学校機能のみに留まらず、地域づくりに寄与できる学校運営を行う必要があります。
- 社会の情報化・国際化等がますます進んでおり、学校教育においてもそれらに対応できる児童生徒の育成が大切です。

## 3. 基本方針

- 人間形成の基盤となる幼児期における教育の充実を図るため、年齢や発達に応じた就学前教育を推進するとともに、学校教育への円滑な接続を図ります。
- 保育教諭等の資質向上を図り、質の高い教育の提供に努めます。
- 学校教育においては、基礎的、基本的な知識・技能の定着、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、情報教育・環境教育・国際理解教育等社会の変化に対応した学習を行います。
- グローバル人材を育成するとともに、地域の歴史や文化、伝統に対する誇りと愛着心を育むための教育を推進します。
- 豊かな心・健やかな体の育成のため、道徳教育・体力の向上・食育等を推進するとともに、いじめ・不登校の解消をめざして教育相談活動の充実に取り組みます。
- 安全・安心な教育環境を整えるために施設の計画的な整備や改修に取り組むとともに、学校が地域づくりの拠点の一つとなれるようにコミュニティスクール<sup>※54</sup>を推進します。

## 4. 目標達成のための施策

|                   |  |
|-------------------|--|
| ①幼児教育の充実          | <ul style="list-style-type: none"><li>○教育課程に基づく指導計画の作成、指導実践に取り組み、園児の生活全体が豊かなものとなるよう努めます。</li><li>○研修会や園内研修等の参加・取組を図り、幼児教育の質の向上に努めます。</li><li>○「このえ学園基本計画」によるつながり学習の実施等、学校との連携を深めます。</li></ul>          |
| ②確かな学力の向上         | <ul style="list-style-type: none"><li>○小学校の教科担任制や習熟の程度に応じた指導、ICTを活用した指導等、指導方法の工夫と改善を図ることで学力の向上をめざします。</li><li>○グローバル人材を育成するために国際交流や小・中学校連携による外国語の指導の充実を推進します。</li></ul>                                |
| ③豊かな心<br>健やかな体の育成 | <ul style="list-style-type: none"><li>○他人を思いやる心や公共心を身に付けることができるよう、道徳教育や読書活動等を通して、豊かな心の育成やコミュニケーション能力の向上を図ります。</li><li>○体育・スポーツ活動を充実させ、健やかな体の育成を図るとともに、学校給食等を通して、食への関心を深め、家庭や地域と連携した食育を推進します。</li></ul> |

※54 コミュニティスクールとは、学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させて一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える、「地域とともにある学校づくり」を進める法律(地教行法第47条の5)に基づいた仕組み。

|                      |   |
|----------------------|---|
| ④小・中学校の連携と「ふるさと学」の推進 | ○小学校間の交流や小・中学校の連携を推進するとともに、九重町の歴史・文化産業等の学習を計画的に推進します。<br>○多様な人材を活用した授業、校外学習活動、地域行事への参加により、児童・生徒の町に対する愛着心や誇りを育みます。 |
| ⑤いじめ・不登校の解消          | ○いじめ・不登校調査を定期的に行うことで、早期発見とその解消に努めます。<br>○適応指導教室を活用した相談活動の充実に努めます。   |
| ⑥コミュニティスクールの推進       | ○地域と学校のつながりをより一層深め、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを推進するとともに、学校が地域の文化の拠点になれるような学校運営を推進します。                                    |

## 5. 目標指標

| 指 標                              | 単位 | 基準値 (R2) | 目標値 (R8) |
|----------------------------------|----|----------|----------|
| 小1プロブレムの発生率                      | %  | 10.8     | 10.0     |
| 全国学力調査の平均正答率で全国平均を超える教科数(年間)     | 教科 | 1/4      | 4/4      |
| ICT機器を意見交換や調べ学習で活用する中学3年生の割合(年間) | %  | 23.2     | 100      |
| 大分県平均値以上の体力調査種目の割合(全学年)(年間)      | %  | 58.1     | 100      |
| ふるさと学を含む総合的な学習の時間に対する取組率(年間)     | %  | 77.9     | 80.0     |
| 「学校に行くのが楽しい」と答えた児童・生徒の割合(年間)     | %  | 81.8     | 83.0     |
| 中学3年生の地域行事参加率(年間)                | %  | 60.8     | 67.0     |

### みんなで築くまちづくり

- 親子で自然の美しさや素晴らしさに感動しながら、豊かな心を育てましょう。
- 子どもたちがふるさとを思う気持ちを育めるように、地域のことを知り、地域の人とふれあう機会をつくりましょう。
- ここのえ学園基本計画の考え方を共有し、学校だけでなく家庭や地域等も含め、みんなで子どもの教育に取り組みましょう。
- 家庭においては、子どもに基本的な生活習慣や家庭学習の習慣を身につけるとともに、家族の一員としての役割を持たせましょう。

## 6-2 社会教育の推進

担当課 社会教育課



### 1. 現状

- 平成26年度に策定した「九重町社会教育計画」に基づき、社会教育の振興に取り組んでいます。各地区公民館については、地域活動の拠点となる各地区公民館の整備が平成30年に終了し、4地区に「ふれあい交流センター」が併設する等、まちづくりを推進するための施設の充実を図っています。そうした中、平成25年4月より各地区公民館に正規職員を配置し、地区協議会との連携の中で、地域づくりの拠点として社会教育活動を行い、放課後子ども(チャレンジ)教室や学校支援本部事業等を通して、多様な学習の機会の提供に努めています。また、学習をまちづくりにつなげていくために、寿大学等、多世代を対象とした講座と連携した取組も行っています。
- 地区集会所については、地域コミュニティ活動の拠点として、地域の活性化を促進することを目的に、引き続き新築・改修等、環境整備を図っています。
- 平成27年度からは、「九重ふるさと自然学校」と提携して、青少年を対象とした「ふるさと探検クラブ」を実施しているほか、他の機関と連携し、介護予防や減災分野等を中心とした学習支援に努めています。国際交流の推進については、APUホームステイ事業を実施しているほか、ここのえ学講座を通じて、外国人住民と地域住民が交流する機会の提供に努めています。
- 各地区青少年健全育成協議会と連絡会を開催し、地区公民館や学校と連携し各種育成事業を実施しました。
- 平成31年2月には、社会教育委員へ諮詢した「若者の社会教育活動の参加促進について＜青年団体の再生＞」の答申がなされました。調査の結果から、公民館は、若者に限らず多くの住民に認知されていたことや、多くの若者が社会教育活動や地域活動に参画していることが明らかになりました。
- 社会教育事業を推進していくための専門的な助言や指導を行い支援する役割を持つ人材の育成として、職員への社会教育主事の資格取得を進めています。

### 2. 課題

- 次世代を担う人材育成のため、青年団体の実態把握に努める必要があります。
- 公民館活動の推進に対する提言を活かす取組が必要です。
- 地区集会所での取組や住民参加型学習会への支援が求められます。
- 住民組織への加入率が減少しており、多世代が手を取り合い、互いを尊重しながら、より良い地域をつくる関係をいかに築いていくか、といった視点を持てる人材を育成することが必要です。
- 国際交流の推進については、外国人住民の実情・ニーズ等の把握のため、大分県等の各種団体と連携した推進体制を構築することが重要です。

### 3. 基本方針

- 住民が自ら生涯にわたり学習し、学んだ成果を地域で活かすことのできる環境づくりを推進するとともに、産学官連携により学びの場を提供します。
- 地域課題の解決のために、住民自らが主体的に関わる機会を創出し、自主的な地域づくり活動を支援するとともに、その活動の担い手の育成に取り組みます。特に、次世代を担う若い世代の把握とその活動の支援に努めます。
- 地域との関わりや、地域に対して愛着を持ってもらうため、サークル活動を促進し、地域活動に参加できる環境を整備します。
- 子どもの「生きる力」を育むため、学校教育と連携し地域全体で子どもたちを守り育てる環境づくりを推進します。
- 社会のグローバル化に対応するため、留学生との交流事業や高校生への留学支援事業等を通じ、異なる文化や人々に対する理解を深め、国際交流を推進します。

### 4. 目標達成のための施策

|              |   |
|--------------|---|
| ①社会教育の推進     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区公民館が主体となり、地域づくりとそれを支える人ととの関係づくりや住民のニーズに応じた学習や活動ができる環境づくりに努めます。</li> <li>○地域の人材等の活用や、産学官連携による住民及び関係団体へ研修会等の開催を通して、生涯学習<sup>※55</sup>の活性化を図ります。</li> </ul>  |
| ②社会教育機能施設の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区公民館が地域づくりの拠点施設として、安全・安心で住民が集いやすい場となるよう、施設の維持管理を含め、利用環境の改善に努めます。</li> <li>○住民の様々な活動への支援等、公民館機能の充実に努めます。</li> </ul>   |
| ③人材育成の推進     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コミュニティの担い手となる人材の育成を促進します。中でも、次世代を担う若者の活動を促進するとともに、その活動を支援します。</li> <li>○次世代を担う若者を対象としたサークル活動を促進し、地域に係わり様々な活動に参加できる環境を創出します。</li> <li>○まちの担い手応援事業等を活用し、地域課題の解決に向け、主体的にまちづくりに関わる人材への支援を行います。</li> </ul> |
| ④国際交流の推進     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民の異文化理解を深めるため、大分県外国人総合相談センター等と連携し、国際交流活動への積極的な支援や機会を提供することで、外国の人々との交流促進を図ります。</li> </ul>   |

※55 生涯学習とは、学習者の視点からとらえたもので、社会教育における学習のほか、学校教育や家庭教育における学習、組織的に行わない個人的な学習も含む点で、社会教育より広い活動を対象とする概念。

## 5. 目標指標

| 指 標                                | 単位 | 基準値 (R2)   | 目標値 (R8) |
|------------------------------------|----|------------|----------|
| 地区公民館で開催する講座等の参加人数(年間)             | 人  | 5,585(R1)  | 5,600    |
| 【再掲】<br>地区公民館(ふれあい交流センター)の利用者数(年間) | 人  | 24,952(R1) | 27,500   |
| 担い手応援事業利用件数(年間)                    | 件  | 14(R1)     | 20       |
| 国際交流事業参加者数(年間)                     | 人  | 26(H30)    | 50       |

### みんなで築くまちづくり



- 地区公民館や地区集会所における学習活動に参加しましょう。
- 地域コミュニティにおける活動について知り、興味がある取組には参加を検討しましょう。
- 異文化についての理解を深め、多様な交流に参加しましょう。

## 6-3 文化・スポーツの推進

担当課 社会教育課



### 1. 現状

#### 【芸術・文化】

- 文化振興の指針として、平成28年度に「九重町文化振興ビジョン」を策定し、自主事業をはじめとした様々な事業展開や環境整備に取り組んでいます。九重文化センターは、住民の自由な集会の場、文化活動の拠点として、まちづくりに資する各種事業を実施しています。平成30年には、第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障がい者芸術・文化祭大分大会が行われ、この大会のレガシーを引き継ぎ、各種事業の推進に取り組んでいます。
- 自主文化事業では、住民の文化団体が企画段階から住民主体のイベントとして毎年講演や上映会を開催するとともに、文化財団等の助成事業や共催事業を活用し、一流の芸術・芸能の鑑賞機会を提供することで、町の文化水準の向上の一翼を担っています。また、町文化振興会等の活動支援・住民同士の交流を図るとともに、ケーブルテレビやSNS等を通じて、文化事業・グループの情報収集・発信を行っています。
- 図書館については、平成24年度に策定した「九重町読書推進計画」に基づき、蔵書数の拡大、利用しやすい環境づくり、イベントの開催、学校図書との連携等、施設の充実に取り組んでいます。
- 文化財の保存・継承については、文化財調査員を中心に、文化調査報告書の発行、広報やケーブルテレビを活用した周知を図っています。
- 地域文化・伝統芸能の後継者育成については、地区公民館祭りや学校教育との連携により伝承に努めています。しかしながら、地域文化・伝統芸能への住民の関心度の低さや、人口減少・少子高齢化の影響による後継者不足から今後の存続が厳しい状況です。

#### 【芸術・文化】

- 近年の少子高齢化に伴ってスポーツ人口の減少が危惧されている中で、平成30年度に「九重運動・スポーツ推進計画」を策定し、計画に沿った運動・スポーツの普及を図ってきました。
- 総合型地域スポーツクラブ「ここのえ“夢”クラブ」(以降、夢クラブという)をはじめ、体育協会等と連携してスポーツ人口の拡大と競技水準の向上に努めています。また、夢クラブやスポーツ推進委員の活動を通じて、学校や高齢者サークル等を中心に軽スポーツ教室を開催し、積極的な情報発信を行うことで生涯スポーツの推進を図っています。
- 指導者をはじめ各組織の運営スタッフ確保のために、県と連携して、スポーツ推進委員研修やスポーツ少年団の指導者養成を実施しています。また、九州大会以上の大会に出場する個人・団体に対して、参加の負担軽減を図るため、補助事業を実施しています。さらに、九州選抜高校駅伝競走大会の開催、町内宿泊施設や九重グリーンパークを利用する夏合宿の誘致等により、町内資源の有効活用を行いながら、トップレベルの競技力に触れる機会をつくることで、スポーツツーリズムの推進を図っています。
- 体育施設については、生きいきランドの施設改修を計画的に行い、長寿命化を図っています。

## 2. 課題

### 【芸術・文化】

- 住民一人ひとりの文化活動への関心度、文化財及び歴史資料館の認知度を高める必要が  
あります。
- 地域文化・伝統芸能の後継者育成が急がれます。
- 図書館については、平均貸出冊数や来館者数(率)が減少傾向にあることから、増加に転  
じる取組が必要です。
- 九重文化センターは、平成11年の開館後20年以上が経過し、施設全体の劣化が進んでお  
り、施設維持のための整備が必要です。

### 【スポーツ】

- 総合型地域スポーツクラブの会員拡大や指導者をはじめとした運営スタッフの充実、事  
業継続に向けた財源確保が求められます。
- 各団体における指導者不足の解消のため、各団体における人材発掘と指導者の養成が必  
要です。
- 今後も引き続き、活きいきランド施設の長寿命化に係る施設整備が必要です。

## 3. 基本方針

- 住民が、文化活動に関心を持ち、より地域に愛着を持てるように、日常的に芸術や伝統に  
触れ、自ら学ぶことができる環境づくりを行います。
- 郷土の歴史・伝統文化を後世に伝えていくため、保存・継承を担う後継者の育成に努めま  
す。さらに、住民が文化財の認知度や保存・活用の理解を深めるため、文化財に关心を持  
ち、価値を理解する機会を提供するとともに、保存と活用に努めます。
- 誰でも気軽に参加できる生涯スポーツを推進するとともに、健康寿命<sup>※56</sup>の延伸に向けた  
運動の習慣化への支援や、子どもから高齢者までそれぞれの体力、年齢、目的に応じたス  
ポーツ活動が進められるよう、住民の健康と体力づくりをめざします。
- 総合型地域スポーツクラブの会員拡大を図り、関係団体への支援、指導者の育成や確保  
に努めます。
- 文化活動の拠点である九重文化センターや、スポーツ活動の拠点である九重町活きいき  
ランド等については、多くの住民が集い、利用の促進を図るために環境整備を行います。

## 4. 目標達成のための施策

|            |  |
|------------|--|
| ①文化事業の充実   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民が日常生活の中で文化・芸術に触れ、親しむ機会の充実を図るとともに、住民参画型の文化・芸術活動の促進を図ります。</li> <li>○図書館の充実を図り、本を通じた交流促進等、文化の創造や学ぶ意欲の向上を支援します。</li> </ul>                 |
| ②文化財の保存・継承 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財の次世代への確かな継承を図るため、文化財保護に関する普及活動を行います。</li> <li>○歴史資料館等を活用した講座の開催や、地域・学校と連携した学<br/>習支援等を通して、歴史や文化に対する理解を深め、住民の郷土<br/>愛を育みます。</li> </ul> |

※56 健康寿命とは、WHOが提唱した指標で、国が定める定義は健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。

|               |   |
|---------------|---|
| ③生涯スポーツの推進    | ○住民誰もが、それぞれの年齢や体力等に応じて楽しむことができる運動・スポーツの推進に取り組みます。<br>○総合型地域スポーツクラブ等による様々な教室の開催等、スポーツに親しむことができる環境づくりに努めます。 |
| ④文化・スポーツ施設の充実 | ○多くの住民が集い、利用の促進を図る環境をつくるため、活きいきランドや文化センター、地区体育館の利用環境の整備を行います。   |

## 5. 目標指標

| 指 標                    | 単位 | 基準値 (R2) | 目標値 (R8) |
|------------------------|----|----------|----------|
| 文化センター自主事業参加人数(年間)     | 人  | 1,789    | 1,900    |
| 住民一人当たりの図書貸出冊数(年間)     | 冊  | 3.6      | 4.0      |
| 郷土史・文化財に関する講座等参加者数(年間) | 人  | 80       | 110      |
| 体育施設の利用者数(年間)          | 人  | 13,439   | 14,800   |

### みんなで築くまちづくり



- まちの歴史と文化を誇り、次世代に引き継ぐ責任を持ちましょう。
- 九重町図書館を活用し、興味・関心のある分野の知識や理解を深めましょう。
- 文化グループ活動に参加して、新たな地域文化の創造に取り組みましょう。
- スポーツやレクリエーション活動を定期的に行い、心身の健康を維持しましょう。
- スポーツやレクリエーション活動を通じて、仲間のつながりをつくりましょう。